



## ガリガリ君 E-mail 通信

令和4年5月(第163号)

(総会・記念式典特集号)

下水道既設管路耐震技術協会

**今年度の協会活動がスタート。総会、設立20周年記念式典に続き管理者講習会、名古屋未来環境 EXPO が開催されます。**

### 第21回定時総会が開催されました。

4月26日(火)、J-tyard・リオット銀座東武ホテルにて、第21回定時総会が開催されました。今年度も、コロナ感染対策のため、出席者の制限、懇親会の中止での開催となりましたが、議決権を持つ会員99社のうち、出席社52社、委任状31社の計83社で総会が開催され、下記の5議題について審議が行われ、すべての議案が満場一致で承認されました。

議事内容の要旨は次の通りです。

○ 第1号議案 令和3年度事業報告

① 会員数 1社入会により、会員数は103社となりました。

② 施工実績 3工法合わせ、令和3年度の施工実績4,385か所、累計か所数は110,960か所となりました。内訳は表-1の通りです。

表-1 施工実績表

	令和3年度実績			令和3年度末累計		
	G工法	F工法	T工法	G工法	F工法	T工法
施工数	2,424人孔	1,151人孔	810管口	73,327人孔	27,641人孔	9,992管口
新規都市数	5	9	2	—	—	—
施工都市数	30	38	17	118	102	52

G工法：既設人孔耐震化工法 F工法：フロートレス工法 T工法：耐震一発くん

③ 施工管理者講習会 — 受講者238名に管理者証を交付。

④ 施工技術者研修会 — 受研者77名に管理技術者証を交付。

⑤ 安全施工パトロール — 東京都区部の3工事、静岡市の1工事を対象に実施。

⑥ 広報普及活動

- ・376件の問い合わせに対応
- ・札幌市での工法見学会の実施
- ・東京都での情報交換会への参加
- ・業界紙等への36件の広告掲載

○ 第2号議案 令和3年度決算報告

○ 第3号議案 令和4年度事業計画

① 自治体等への重点的な広報活動により、工法の普及拡大を図る。

② 展示会・説明会 — 下水道展東京、名古屋未来環境 EXPO2022 等へ出展。

③ 広報活動 — ・オンラインによる広報・広告活動を推進。

## ・協会ホームページの充実

- ④ 施工管理者講習会—5 会場で受講希望者 328 名を対象に実施の予定。  
 ⑤ 施工技術者研修会—2 会場で受検希望者 55 名を対象に実施の予定。  
 ⑥ 調査研究事業
- ・品質追跡調査の実施
  - ・東京都内外でのパトロールの実施
  - ・施工範囲拡大のための技術開発の実施 等
- 第4号議案 令和4年度予算案  
 ○ 第5号議案 任期満了に伴う役員改選

表-2 令和4~5年度の役員

**理 事**

役 職	氏 名	会 社 名	会社役職
1 会 長	増淵智之	日本ヒューム (株)	専務取締役
2 副会長	池田匡隆	東京都下水道サービス (株)	専務取締役
3 常務理事	中坪雄二	下水道既設管路耐震技術協会	事務局長
4 理 事	土屋明秀	ベルテクス (株)	代表取締役社長
5 理 事	武井紀予文	(株) 武井工務所	専務取締役
6 理 事	金谷朝東	北立建設工業 (株)	代表取締役
7 理 事	野田隆志	(株) 水十水工業	代表取締役
8 理 事	井上靖雄	(株) メーシック	取締役
9 理 事	澤谷善政	管清工業 (株)	名古屋支店長
10 理 事	稲田義克	日本工営 (株)	専門顧問

**監 事**

1 監 事	西澤正彦	三倉建設 (株)	代表取締役
2 監 事	山口裕央	東信工業 (株)	代表取締役社長

また、総会に先立ち、第34回理事会が開催され、理事、監事全員出席のもと、総会提案議案の審議が行われ承認されました。

**設立20周年記念式典が開催されました**

本協会の設立20周年を記念する式典が、会員各社および10名のご来賓に出席いただき、盛大に開催されました。

式典では、増淵会長よりの20周年にあたっての挨拶に続き、国土交通省下水道部の石崎事業マネジメント推進室長、東京都下水道局の新谷建設部長の両氏よりご祝辞を頂きました。

この後、協会の設立、運営に貢献いただいた10名の方々(3名ご欠席)に対し、会長より感謝状、および記念品が贈られ、これに対し東京都下水道サービスの高橋技術顧問よりお礼のご挨拶を頂き、無事式典は終了しました。



写真-1 記念式典授賞式

## 名古屋未来環境 EXPO2022 に出展します

5月12～14日に名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）第2展示館で開催される「名古屋未来環境 EXPO2022」に出展します。

本協会の出展ブースは展示エリアのほぼ中央の207番で、2小間を利用し、3工法の模型と説明パネルを出展するほか、振動装置を用いてのマンホール浮上の実演や、簡易の液状化体験を行います。

普段展示会に参加される機会の少ない中部地区、北陸地区の会員のみならず、この機会にぜひ展示会に足を運んでください。お待ちしております。



写真-2 名古屋 EXPO 展示ブース

## ○ パリと下水道（3）

前回は下水管の断面形状についてご紹介しましたが、今回はそれと関連した下水管の空間利用についてご紹介いたします。

大断面の管きょは、その後のパリの発展を支えることとなります。水道管が当初から管内に併設されたことは前回ご紹介しましたが、その後に電気や電話が発明され、送電線や送信線の早急な敷設へのニーズが高まる中で目を付けられたのが下水管でした。まさに、共同溝としての下水管の活用でした。写真-3が管内の様子です。さすがに近年はすべての送信線・送電線は収容しきれないため下水管の中から移設撤去されており、現在は水道管、中水道管、圧縮空気管が敷設されています。

この水道管・中水道管ですが、管内に敷設されたのは最初は水道管だけでした。パリの大改造後の人口や市域の急激な拡大に伴い、水道の水源となっていた近隣の運河や河川水の水質が急激に悪化したため、水道水源を清浄な遠隔地に求めて新たな給水システムを整備する一方、今まで使っていた水道システムをそのまま中水道として活用することになりました。

この中水道、思わぬところで活用されています。第1回目でご紹介した路面洗浄水や市内のあちこちにある噴水の水は、この中水管から供給されています。さらに、この中水管が下水管の維持管理に多大なる貢献をしていることはあまり知られていません。

パリの下水システムはポンプ場が少なく、自然勾配を利用して流しています。この下水管に路面洗浄で多くの夾雑物が流入し管内に溜まるのですから、たまりません！そこで採用されているのが、管内のフラッシングシステムです。



写真-3 下水管内に敷設された水道管類

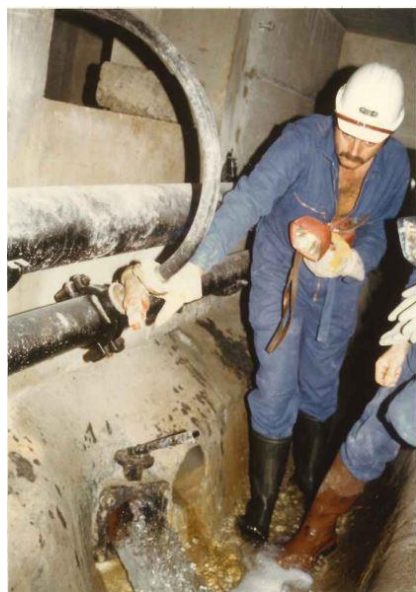


写真-4 をご覧ください。管内のところどころの壁面にこのような貯留水槽が設けられており、中水管に接続されたホースから常時中水が供給されています。貯留水槽の一定以上の水位まで水がたまると、サイフォンの原理により写真の管底部に設けられたバルブのついた吐口から水が一気にフラッシュされ、管内に溜まっている夾雑物を押し流します。水槽の水位をコントロールすることで、上流から下流に向かって、順次フラッシュするようになっているそうです。

フラッシュされた夾雑物の行方や、建物への接続の秘密について次回ご紹介いたします(続く)。

写真-4 管内フラッシングの様子

### 協会からのお知らせ

既に受講を希望された方には連絡しておりますが、今月4会場でガリ・フロの管理者講習会が開催されます。当日は下記の持ち物を忘れないようにご注意ください。

- 裏に氏名、生年月日を記入した縦3cm×横2.5cmの写真1枚
- 講習用テキスト(お送りしたCDから印刷して当日持参ください)
- 確認テストを行いますので、筆記用具

また、コロナ感染予防のため、当日朝必ず検温していただき、熱がある方や体調のすぐれない方は受講しないようにお願いします。

### 編集後記

・今日は連休の中日で、休まれている会員も多いと思います。この連休の後半は今のところ天気にも恵まれ、各地で久々のイベントが開かれなどかなりの賑わいのようですが、この後のコロナの反動が心配です。

・そんな中、総会、記念式典の開催は、コロナの感染状況を見ながらギリギリのところでの決定でしたが、大過なく終了することができました。出席いただいた会員の皆さん、長時間の会となりましたが、最後まで参加いただきありがとうございました。また、残念ながら出席いただけなかった会員の皆さん、リモートでの総会、式典の視聴、如何だったでしょうか。

・今月号は連休を挟んでいたため、お届けが少し遅れましたが、総会、記念式典特集ということで、初めての4ページ構成でお届けします。